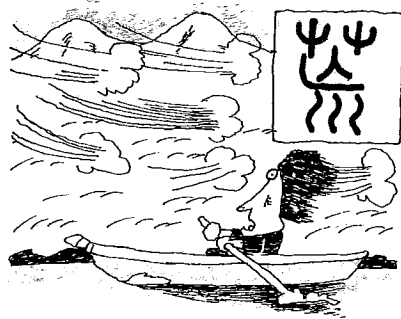


荒

コウ
あらい・あれ
る・あらず

9画
一 艹 芒 芒 艹 艹 荒



なりたち 艹は草、川は川。川が流れ、草がはえているだけであとは何も無い、という「あれ地」を表した字。転じて、広く「あれはてる・あれすきむ」の意味に使う。

▼あれ。作物が出来ない。荒野：あれはてた野原。荒涼：あれはてて寂しい様子。用例 荒涼たる風景。凶荒：穀物が実らないために起こる飢饉(い)。

▼あらい。はげしい。荒天：雨や風がはげしくふきあれる天気。荒波：①あれくるう波。②世の中のつらいことのため。用例 世間の荒波にもまれる。

▼だめになる。すさむ。荒廃：あれはてること。用例 国土の荒廃を防ぐ。

荒城：あれはてた城。▼道理に合わない。荒唐無稽(ご)：言うことがでたらめで、とりとめがないこと。用例 荒唐無稽な話。

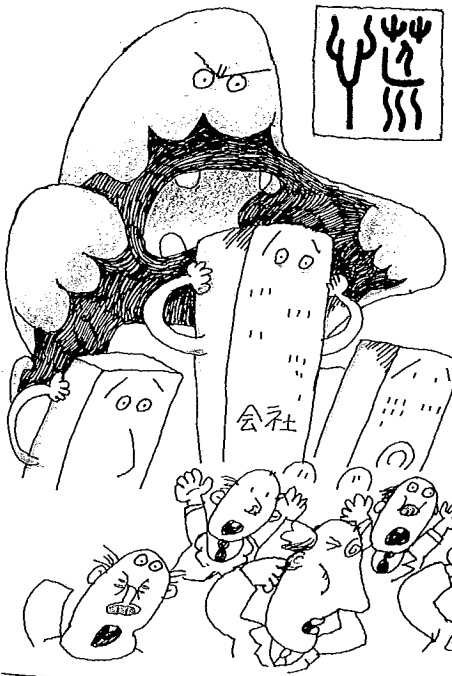
よみかた 荒海・荒武者・荒療治・破天荒

荒慌

慌

コウ
あわてる・あ
わただし

12画
一 忄 慌 慌 慌



なりたち 荒と心との会意形声字で、心があればるといふ意味の字。「あわただし」が「あわてている」ために心が正しく働かないこと。

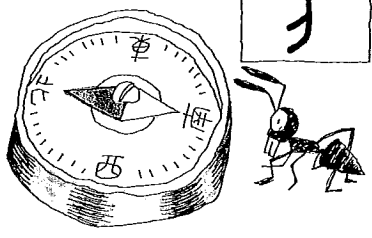
▼あわただし。あわてる。恐慌：①恐れ慌てること。②経済恐慌。好景気から不景気に移る際に起きる深刻な経済の混乱。失業者がふえ、会社が次々につぶれ、社会が不安な状態になること。パニック。

方

ホウ
かた

2年
4画
一 一 方 方

なりたち 田畑を耕す道具の「すき」の形を表した字。昔の生活にはなくてはならぬ大切な道具だったので、この字が「手段」・「手だて」の意味に使われるようになった。



いみとじゆく

▼でだて。やりかた。方法：やりかた。手段。用例 最良の方法を考え出す。

方針：ある事をどう進めていくかという方向づけ。もと、磁石の針の意味。

方便：仏教用語で、人を真の教えに導くための手段。転じて、目的のために用いるその場に都合のよい手段。

用例 嘘(ご)も方便。▼方角。所。遠方：遠く隔たった所。▼四角。方円：四角と丸。用例 水は方円の器に従う。(水は容器の形に従って形をかえる。)

▼正しい。品行方正：行いが正しいこと。

よみかた 方途・大方・両方

さんこう 特別なよみかた↓

行方

芳

ホウ
かんばんしい

7画
一 艹 艹 艹 芳 芳

なりたち 四方の意味の方と「草」との会意形声字。四方によい香りをただよわせる「かおり草」を表した。「かぐわしい」意味から「立派なこと・評判がよい」などの意味に使う。

いみとじゆく

▼かぐわしい。良いかおり。芳香：良いかおり。芳醇(ほうじゆん)：酒の香りが高く、味にこくがあること。

▼評判が高い様子。芳名：芳しい評判。用例 芳名を千載に残す。(芳しい評判が千年の後までも伝えられる。)

▼相手の事に対して用いる美称。芳名：相手の名前を敬つていう言葉。

芳墨：相手の書簡や筆跡を敬つていう言葉。芳書・芳翰(はん)も同じ。

芳志：相手の親切な気持ちを敬つていう言葉。用例 二芳志まことにありがたく。

芳紀：若い女性の年齢をいう言葉。用例 芳紀十八歳。

よみかた 芳恩・芳情

芳香水

方芳

